

# 文芸作品

第十三号 平成二十四年一月一日発行

## ステキな方

### T・Mさん

私はターコイズブルーが好きです

シヨッキングピンクもとてもすてきな色ですよ

人々は花を見ている時だけ

欲も願望もなくなつて

とてもステキな人になるんですよ

いっぱい想像してください

時間が止まるように

ほら あなたも

幸せをいっぱいかかえこんで

ステキな自分になっている事に気づくはず

もしかこの世に生まれてきた事で

キズつくような事があれば

花びらをさわつてください

人の手をにぎってください

子供のころにもどつたように

夢の世界が生まれるはず

さあ夢の世界の上映がスタートします

祈りましょう

祈りましょう

目の不自由な貴方 …へ

## 沖繩の空

それは美人の多いのどかな沖繩の空だった

比較的天候にも恵まれた旅行だった

観光の止まるバスで

あちこちと流れる沖繩の曲

その昔 激戦地であつたことはもう私のなぞである

行事のごとく ひめゆりの塔で参拝したのも

なぜつて誰かに問いただしたくなる

こんな風に終結を迎えるのも

神は知つていただろうに

お国の為に命をたつ

その頃はカツイイ文句かもしれないけど

いつのまにか時代の流れに流されて

沖繩返還が私の中学生の頃だった

返してくれても過去の残酷さは消えない

私は沖繩であまりにも沢山の慰霊塔を見て

のどかな沖繩は感じとれなかった

戦争のキズあとのあまりにも悲劇な沖繩

いつ行つてもやっぱり私の心の中にのこるだろう

……なぜ……??

## 俳句

### H・S

決勝や 声まで日焼け して帰る

なでしこや 日本を変えて 帰国する

なでしこよ 暑きドイツで 咲き誇れ

サングラス 心でつかく なりにけり

空青く 地には真つ黄な 彼岸花

群れ咲きて 火を焚くように 曼珠沙華

秋風や 渚を走る 白き波

台風や 遅れて来る バスを待つ

イ・ムジチや 涙を誘う 「赤トンボ」

ラムネ玉 こころこころと なつかしや



# 若くは若いね

I・S



ピンと伸びた

鼻髭のつけ根の部分が膨らみ

ちよつとすこみのある

犬本来の顔をしている 愛ちゃん

ペランダの脇の路を歩いていると

骨棒をボンと落とす

わたしはそんなじゃないと

目が白く濁っていると 言ううと

そして玄関で身を反らし

しつぽのつけ根を 一生懸命噛んで

身がしなやかなことを強調する

若いのね 愛ちゃん

私の身のこなし よく見ていること

右肩下がり 骨粗しょう症

加齢と共に身体がかしいでくる

ラジオ体操で胸を反り

腕が上がらない よいつしよ

愛ちゃんに負けられない

愛ちゃんは夜中

痙攣をおこして 後脚が少し麻痺

ペタンと腰を落とし変な座り方をする

石段を登る時 足を踏み外す

元気でいたいわ と言ううと

顔を後ろに向けて背の毛を噛む

お互いに年だけど

いつまでも 若くいようね

## 【短歌】

A・M



一 自信なきに 心病む息は 職場でも

二 眠れぬが 休む理由にならぬのが

三 辛いよねと ぼつり息は言う

四 夜勤より 帰りし息は用意しし

五 痛みし息よ 君の痛みは 母の痛みし

六 共に歩みし 二十五年だね

# あつむくひ日だ」

宮城県若林区にある八軒中学校の吹奏楽部合唱部は全国大会にも出場する強豪校ですが、学校が東日本大震災の避難場所に使われるなどの影響で出場を断念しました。急遽被災者を前にして、復興支援演奏会を行いました。生徒が卒業ソングとして練習していた「あすという日が」を歌ったところが希望を照らす歌詞と中学生のみずみずしい歌声に被災者のほとんどが涙を流したのです。

## 歌詞

一 大空を 見上げてごらん あの花を見上げてごらん  
青空に 手をのばす 細い枝 大きな木の実を支えている  
いま 生きていること いっしょうけんめい 生きていること  
なんて なんて 素晴らしい

あすという日が ある限り しあわせを 信じて  
あすという日が ある限り しあわせを 信じて

二 あのを道を見つめてごらん あのを道を見つめてごらん  
踏まれても なお伸びる 道の草 踏まれたあとから  
芽ぶいているいま 生きていること いっしょうけんめい  
生きていること

なんて なんて 素晴らしい  
あすという日が くるかぎり 自分を信じて  
あすという日が くるかぎり 自分を信じて